

Compass

ボランティア情報誌「コンパス」

Vol.22



お外へ行けば
たくさん仲間が
待っているかもね。



秋はなんだか
わくわくするよ。
何かをはじめたくなる
そんな気分。



イメージキャラクター
「ボブリちゃん」



特集

体験学習・ボランティア活動の新たな展開!.....2~3

ほっとなボランティアグループ

ならグリーンネットワーク (NGN)4

ひと・まち・くらし

人との絆の大切さを見直すきっかけに。

こんにちは、大宇陀町社協です。.....5

情報アンテナ

募集情報 / 助成制度.....6~7

体験学習・ボランティア活動の 新たな展開

～学校における福祉教育・ボランティア学習をめぐる動向～



国の施策として、学校教育の中にボランティア活動の推進が行われるようになったのは、昭和52年（1977年）に厚生省（現・厚生労働省）が実施した「学童・生徒のボランティア活動普及事業」（通称：ボランティア協力校指定事業）が最初と言われています。

奈良県社会福祉協議会においても、昭和52年（1977年）から平成15年（2003年）の現在に至るまで、小・中・高校の計366ヶ所の学校を指定してきました。

このように、従来から学校における福祉教育やボランティア学習の取りくみは行われていましたが、ここ数年は特に注目を集めるようになりしました。

それは、受験競争・いじめ・不登校・学級崩壊・虐待・凶悪犯罪……等子ども達を取りまく社会的環境が高度深刻化する中、平成8年（1993年）に中央教育審議会答申で、子ども達に「ゆとり」ある生活を取り戻し、自ら学び自ら考える「生きる力」の育成を提唱したことが契機となりました。

その答申を受け、学校週5日制がスタートし、新しい学習指導要領の下「総合的な学習の時間」等が設置されたり、青少年の奉仕活動・体験活動の推進方策等が出されたりしました。

この新たな教育システムの中では、学校のみならず家庭・地域社会において様々な社会体験活動のプログラムを推進していることから、あらためてボランティア学習が注目されるようになったと言えます。

しかし、福祉教育やボランティア学習の推進に携わる現場では、押し寄せる多数のプログラムを前に、下記（※1）に代弁されるような課題を抱え、どのように取り組めばいいのか模索しているのが現状です。

「ひとり一人のことが大切にされ、誰もが安心して暮らせる」そんな福祉のまちづくりを実現させるためには、児童・青少年をはじめ全ての人が、共に生きる社会の一員として、地域にある様々な福祉課題に目を向け、課題解決への取り組みが求められます。福祉教育の基本は、その主体的な力を育むとともに、福祉のまちづくりを担う人材を育成することにあります。

新しい制度施策をうまく活用しながらも、福祉教育の基本理念を見失わない取り組みが、大きな時代の流れを受けている今こそ、必要とされているのではないのでしょうか。

現場に携わる 人々の想いや課題

■福祉教育担当者セミナー参加者の声より抜粋



施設職員 (受け入れ側)

- 施設で学生やボランティアを受け入れる時、何をどこまで伝えたいか
- 施設が地域の中の「福祉」拠点であることを、職員間でどのように意識を高めればよいか

学校教員 (送り出す側)

- 障害を持たない子ども達に、福祉の基本的意義をどのように理解させればいいのか
- 体験学習プログラムづくりのヒントが欲しい

社会福祉協議会職員 (仲介する側)

- 福祉の側から見たボランティア育成と、教育の側から見た総合学習の一環であるボランティア体験学習を、どう連携させればいいのか
- 学校・地域・福祉施設等が、どう連携し協働すればいいのか

福祉教育とは…

●名賀 亨氏
(大阪ボランティア協会事務局次長)

「全ての人が1人の人間として当たり前に生きていくことができる状態」を福祉としたとき、福祉教育はそのような福祉の基本と福祉社会の重要性を理解するとともに、福祉社会の実現を阻害する様々な社会的課題を知り、その課題を解決し福祉社会を実現するために必要な関わり方を学ぶための教育である。

福祉教育
ボランティア学習を
推進するヒント!

体験学習を行うその前に!

よりよい出会いと実りある学びのためのチェックリスト!

テーマ(ねらい)を明確にする

子ども達に、何を伝え何を学んでほしいか整理されていますか?

カリキュラムを検討する

単発ものではなく、年間をとおしてテーマに基づいたカリキュラムが組まれていますか?

地域の課題と学習素材を選ぶ

テーマにそった学習素材として、地域にはどんな「現場」があるのかを調べていますか?

プログラムを検討する

年間スケジュールの中で、個々のプログラム内容は確認できていますか?
子ども達の意見は反映されていますか?

関係機関との調整をする

社会福祉協議会、福祉施設、地域のボランティア団体等の理解や協力は得られていますか?いきなり大勢で押し掛けている?なんてことはないですね。

事前学習を行う

なぜその体験を行うのかを理解するとともに、体験先で会う人々とのよりよい関係づくりのために、相手を知ることはとても大切です。

応援者の立場でプログラムをすすめる

「～しなさい」という指導的な伝え方をしてはいませんか?一方的に与えられた知識よりも子ども達自身が気づいたことは深い学びにつながります。その気づきをうまく引き出すのがコツ!

事後学習を行う

体験そのものが目的になり、やりっ放しになっていることはありませんか?体験をとおして、何を感じ何を知ったのか。それを知った自分(子ども)は今後どうすればいいの、を振り返り考えることでホントの課題に目を向けるきっかけになるのではないのでしょうか。



※福祉教育指導者セミナー 講師: 名賀氏 資料より転載

●奈良県の取りくみ状況●

奈良県下の社会福祉協議会

奈良県内の各社会福祉協議会でも、子ども達を対象に様々なボランティア体験学習の機会を提供しています。

事例1

「めだかの学校」(小学生ボランティア体験学習)

●大和郡山市社会福祉協議会

事例2

「小中学生のボランティアサマースクール」

●上牧町社会福祉協議会

町内の小中学生を対象に、ボランティアについてのお話や手紙・点字・ガイドヘルプなどの体験をした後、上牧町ボランティア連絡会や上牧町小地域ネットワーク連絡会の協力を得て、実際に町内を歩き「福祉マップづくり」を行った。

事例3

「ユースアクション!」

●添上・山辺・宇陀郡ブロック協議会

ブロック内の小学校5年生以上へ一般を対象に、保育所や老人ホーム等の福祉施設でボランティア活動をしたり、ふれあいサロンや婦人会さん等の活動に参加したりした。体験後には「Wishポエム～わたしのまち、にだったらいいね!～」をつくる参加者交流会が行われた。



Wishポエム～わたしのまち、にだったらいいね!

奈良県教育委員会

放課後や週末など、子ども達の集団あそびを提供する居場所づくりや、学校・地域での奉仕体験活動などを推進する様々な事業が行われています。

●軒先あそび推進協議会(兼 子どもプラン推進委員会)

学校・PTA・子ども会・NPO・社会教育系機関等の委員で構成

●軒先あそび支援センター(体験活動ボランティア活動支援センター)

学校内外を通じた奉仕体験活動等の情報提供、相談対応、活動先とのコーディネート等
(県単位)県社会教育センター(新庄町)に設置
(町村単位)富原町・宇生村

●軒先あそびモデル事業(地域教育力活性化モデル事業)

遊びをとおして、地域の伝統文化や自然環境等にふれ、世代間交流を図る
(実施市町村)奈良市 大和高田市 田原町
菟田野町 樟原町 宇生村 高取町 王寺町

●こどもセンター

親や子ども達への、家庭教育支援に関することや様々な体験活動についての情報提供

(奈良市・天理市・川西町・美田町・富原町)子ども情報センター 吉野・生駒市
(香芝市・たかだ山辺・添上郡 大和郡山市)まがひ幼稚園こども情報センター

●子ども放送局

衛星放送を利用して、スポーツ選手や著名な科学者などが直接子ども達に語りかける番組の放映



学校での環境教育授業風景



ホットな
ボランティア
グループ

ならグリーンネットワーク(NGN)

緊急で深刻な地球環境問題

今や地球全体の緊急課題で

ある地球環境問題。私たち「奈良グリーンネットワーク(NGN)」は、「何とかしたい。でもどうすればいいの?」「ひとりではなかなか!」という思いを持つ者がつながり、同じ思いを実現していくと発足しました。代表は、奈良に10年以上住むドイツ人・土井ギセラ。

メンバーには環境教育を実践する教員、ゴミ焼却場の近くに住み不安な思いを抱えていた市民、循環型の農業を試みる市民、学生、子育て中の夫妻、退職後の夫妻、等、さまざまな年齢層・職業・地域などの背景を持つ人々で構成しています。

「こんなこと、やっています」

私たちは、まず地球環境問題の実態を知り、自分たちに出来ることから実践しています。

そしてひとりでも多くの人に環境のことを考えた暮らしを広めていくことが活動しています。

●見学会、学習会

ゴミ問題、産廃処分場、ダイオキシン、合成洗剤、環境家計簿、地球温暖化など

●セミナー、講演

各自自治体などの依頼に応じて、環境先進国ドイツの取り組み、エコライフ、5Rなどを紹介

●ワークショップ

学校や社会教育の場で、ゴミ問題、水問題などの参加体験型学習・ワークショップを開催

注目!!
奈良県で初めての
環境ガイドを出版!!

グリーンコンシューマー ガイド 奈良版 「買うなら!」



昨年、念願の「グリーンコンシューマーガイド 奈良版『買うなら!』」を発刊しました。これは、地域密着型の環境のことを考えた消費者ガイドで、奈良市内を中心にスーパーを調査。環境に配慮した商品、有機野菜・無添加/非遺伝子組み換え豆腐・無添加パン・無投棄肉・再生紙商品・石けんの有無・非塩化ビニリデン製ラップなどの有無を調べました。

また、これらがなぜ環境にいいのか、どれを選べば環境にいいのかなどを解説した環境コラムもメンバーで執筆・記載し、環境に配慮した食品店やレストランなども紹介。

たった今も、おそろしい勢いで自然は消えていっています。環境や健康へ被害を与える問題も山積みです。あまりにも複雑で深刻な問題ですが、私たちの手で出来ることから始めて、ひとりでも多くの人たちとつながりあうことが出来れば、持続可能な社会は実現します。「私ひとりくらいやっても...」と思わず、ひとりからでもはじめていきましょう。

リサイクルではゴミは減らない!

5R

まず!
Refuse
拒否する

unnecessaryなものは買わない、使わない。
スーパーの袋は紙製か、必ずレジ袋は買わない。車ではエコドライブなど。

次に
Reduce
減らす

大切な資源を守るため、無駄遣いを減らす。
電気・ガス・水道の無駄遣い、車の利用を減らす。食料は必要な量だけ買うなど。

次に
Reuse
再利用する

同じものを繰り返し使う。
牛乳びん・ペットボトル、一升びん、詰め替え用の容器など。壊れたものは修理したりするなど。

次に
Repair
修理する

壊れたものを修理して使う。
電化製品などの耐久消費財、洋服や自転車など。

最後に
Recycle
資源化する

再生できるものは資源回収に出し、再生されたものを利用する。
古新聞や牛乳パック、ペットボトルなど。

「ここで提案するエコライフは、5R。これまでのような資源も人も、あらゆるものを犠牲にし、破壊してきた生活を見過し、世界中のたれものに、あらゆる生きものに、無理のない社会を目指しています。そのためにも、貴重な資源やエネルギーを使ってからゴミの始末を考えるのではなく、

「本当に必要なのか?」よく考えてから買ったたり使ったたりしたものです。しかも、ゴミをいくつら分別回収してもそれはすべて再利用されておらず、たとえ再利用品になっても、最終的には自然に還らないゴミとなるものが多いのです。

●ならグリーンネットワーク(NGN) 代表/土井ギセラ

事務局/〒630-1232 奈良市興分町185 北満由香方 TEL/FAX 0742-94-0828/0742-34-0999 Email/yanen@cam.hi-ho.ne.jp

人との絆の大切さを見直すきっかけに。
 こんにちは、大宇陀町社協です。



表彰状を手に笑顔のボランティアスタッフ

大宇陀町でのボランティア活動の取組みについてお話しします。

平成7年にボランティア入門講座を開催し、7月に初めて大宇陀町にボランティア協会が誕生しました。当初は環境と介護に分かれて活動する事になり、環境の方は毎月第3土曜日の午前中に町内道路のゴミ、アキ缶等の収集、公施設の清掃、プラントの花植え等、10人、20人のメンバーが活動し、昨年は国土交通大臣表彰を受けて現在に至っています。

介護の方も施設でのイベントの手伝い等活動しておりましたが途中で息切れし、平成11年にボランティアセンター事業を受けた事をきっかけに再び活動を始めました。保健センターの協力で年間6回のいきいきサロン講習会、3回



いきいきサロンでの楽しいひととき

のボランティア活動講座を開催し、また、イチからボランティアのイロハを勉強し、平成12年度から7ヶ地域で運営ボランティアにより、いきいきサロンが開かれる事になり地域のお年寄りの方の楽しみの一つになっています。13年度も6ヶ地域が増え町内会地域での開催が目標です。ボランティア活動講座からは四つのふれあいボランティアグループ「あすなろ」「とんぐり」「すずらん」「あきの」が誕生し、一人暮らし老人の話し相手、病院の送迎、生活支援等、行政や介護保険の福祉サービスからはずれた人のお助けマンとして活動しています。年間

4回位のリーダー会では活動の成果、これから取り組むべき課題、問題点の把握点検、対応策等又子供の時からボランティアに関心を持ってもらう方法、地域の人達への理解、啓発について、活発な意見交換が行われ、かわる私達も勉強させられる事が多く、この様なグループが町内にもっと増える事を楽しみにしています。

町内の多くの方がボランティア活動を通じて人と人との絆の大切さ、又子供、高齢者との交わりの中から、現在失われつつある命の大切さ、相手を思いやるやさしい心を見つめ直すきっかけにもなってもえればと社協の一隅から、ささやかな手伝いと大きな期待をもってボランティア協会のごからの行方を見守っています。



●お問い合わせ

大宇陀町社会福祉協議会
 〒633-2166
 奈良県宇陀郡大宇陀町大宇迫岡25
 TEL0745-83-3811

ボランティア 情報 アンテナ

奈良ボランティアネットにアクセスしてみよう!!

<http://www.nvn.pref.nara.jp/>



この他にも、たくさん
のボランティア募集情報や
イベント情報などが満載です!
ぜひ一層ご覧ください。

募集情報

エイズ資料館で資料整理ボランティア

<http://hb5.seikyone.jp/home/owls/>

- 活動内容/エイズ資料館で収集・保存されてきた豊富な図書及び資料をより多くの方々に利用していただくために、資料の大整理・大編さん作業を行います。
- 活動日/特に指定なし
- 活動時間/特に指定なし
- 募集対象者/特に指定なし どなたでも大歓迎です。
- 活動場所/エイズ資料館 生駒市東松ヶ丘2-30
- アクセス/近鉄奈良線・生駒線・東大阪線「生駒駅」北口より徒歩5分
阪奈道路生駒ICより車で7分
- 申込方法/連絡先へ電話・もしくはメールで
- 連絡先/〒630-0244 生駒市東松ヶ丘2-30
特定非営利活動法人 奈良HIV情報センター
(担当: 金井)
TEL:0743-75-1903 FAX:0743-75-1903
E-mail: owls@mb5.seikyone.jp
- メッセージ/ひとりでも多くの方のご協力をお待ちしております。

泳げるボランティア募集

<http://www.pool-npa.or.jp>

- 活動内容/障害者(児)とマンツーマンで水遊びや水中運動を行い、一緒に楽しむ活動。水と親しみ、水遊びの楽しさを伝え、「今日も楽しかった、またプールに来たいなあ」と感じてもらえるようにサポートを行う。
- 活動日/継続(ほぼ毎日/一番多いのは土曜日、日曜日)
- 活動時間/午前・午後
- 待遇/交通費あり(1日1回の入水で500円・1日2回の入水で1,500円) 月末締め・翌月の活動時支給
- 募集対象者/高校生・専・短大・大学生・成人(プールの底におへそがつけれ、笑顔で人と接することができ、メールアドレスを持っている人)
- 活動場所/奈良市内、大阪府内、神戸市内の公営プール
奈良市左京5丁目3-1
- アクセス/近鉄京都線「高の原駅」よりバスにて「総合福祉センター前」下車もしくは、JR大和路線「平城山駅」下車 徒歩15分
- 申込方法/事務局まで、メール・電話・FAX等で直接お問い合わせ下さい。
- 連絡先/〒540-0034 大阪市中央区島町2-4-3-902
特定非営利活動法人 プール・ボランティア
(担当: 織田智子・山田崇)
TEL:06-4794-8299 FAX:06-4794-8298
E-mail: pv@pool-npa.or.jp
- メッセージ/陸上のボランティアに比べ、水の中で活動するボランティアはまだ不足しています。その一方で、プールや海へ行きたい、泳ぎたい、水の中を歩きたいという障害者はとても多いのです。奈良でも活動していますが、本活動には奈良在住ボランティアが不可欠です。昔水泳部だった方、プールにはよく通っている方、水着になることが苦にならない方、私達と一緒にボランティアしていただけますか?

在日外国人日本語教室ボランティア募集

- 活動内容/外国人児童や家庭に対して日本語指導や生活相談などのサポートを行うボランティアを募集します。
- 活動日/継続(日曜日)
- 活動時間/午前10:00~12:00
※自主的に学習したい人は午後からレッスンできます。
- 募集対象者/特に指定なし
関心がある方ならどなたでも大歓迎します。
- 活動場所/奈良市中央公民館
奈良市上三条町
- アクセス/JR奈良線「奈良駅」下車 徒歩10分
- 申込方法/連絡先への電話申込
- 連絡先/〒630-8208 奈良市水門町100 旧東大寺学園内
ならファミリー&フレンド(担当:小川)
TEL:0742-21-8211 FAX:0742-21-8211
- メッセージ/現在、幼稚園から大人までの中国・フィリピン・韓国等出身の方が教室に来ています。関心のある方は是非、参加ください。

てんかん患者主体の作業所で 通所者のサポートをしてくれる方募集

- 活動内容/てんかん患者主体の精神障害者小規模作業所「Com. きらめき」において、通所者の方の作業のお手伝い、レクリエーションでの付添・介助など。
- 活動日/継続(火・水・木・金・土) 指定なし
- 活動時間/1日2~3時間程度
- 募集対象者/特に指定なし・資格や年齢制限はありません。
- 活動場所/てんかん患者主体の精神障害者小規模作業所「Com. きらめき」
大和郡山市小泉町246-3
- アクセス/JR大和路線「大和小泉駅」西口より徒歩5分
- 申込方法/連絡先への電話申込
- 連絡先/〒639-1042 大和郡山市小泉町246-3
Com. きらめき内 日本てんかん協会奈良県支部
(担当: 岡本、片桐)
TEL:0743-54-1430 FAX:0743-54-1430
- メッセージ/家にこもりがちなたんかん患者が外に出て自由に活動できるようご支援をお願いします。

募集情報についての詳しい内容や
参加申し込みは各連絡先へお問い合わせください。

「活動資金をつくる方法?!」

非営利活動であるボランティア・市民活動の活動資金は、「手弁当」「持ち出し」から出発することがほとんどです。でも、活動を続ければ続けるほどその持ち出しはすぐに底をつき、「お金がない」から「活動できない」という悪循環に陥ってしまうこともあります。そこですぐに思いつくのが「助成金」ですが、申請をしたからといってそう簡単に受けられるものではありません。それよりもっと身近に出来る資金集めを考えてみませんか。グループ・団体のメンバーの中で、運営に係る経費を少しづつ出し合う「会費」、活動内容に賛同してくれる人から援助を受ける「寄付」、時にはイベントでバザーや模擬店を出してお金を稼ぐ? 「収益」、等々の方法もありますよね。「いいこと」をしているからお金が得られるわけではなく、多くの人共感してくれる活動実践に資金援助があり、また、自分達で活動資金を生み出していくたくましさも大事ですね。

助成制度



2003年度WWFジャパン自然保護助成事業

●実施団体/財団法人 世界自然保護基金ジャパン

●助成内容/(1)対象者

日本国内で自然保護活動を行っている団体・個人。
尚、WWF会員が活動に参加していることが望ましい。

(2)対象事業

自然保護のための調査研究・普及教育・保護活動など。それぞれの活動は具体的な成果が得られる可能性のあるもの。専業の6分野においてWWFがおこなう取り組みに貢献する活動。重要生態域における活動。

(3)応募分野

「沿岸海洋生態系の保全」「淡水生態系の保全」「森林生態系の保全」「有害科学物質の消滅」「生物多様性の保全」「エネルギーと気候変動」の6分野をテーマとする。特にWWFジャパンの取り組む重要生態域(琵琶湖、南西諸島、黄海)での活動を重視。

●助成金額/200万円までの範囲で自由申請

●応募方法

申請書は募集期間中にWWFホームページよりダウンロード可能。用紙サイズはA4限定。応募の際は、郵送による書面での申請書1部に加え、メール添付などでデータも提出。

〒105-0014

東京都港区芝3-1-14 日本生命赤羽橋ビル6F

財団法人 世界自然保護基金ジャパン

担当: 橋田・竹村

TEL: 03-3769-1772

FAX: 03-3769-1717

E-mail: masayuki@wwf.or.jp

●応募締切/2003年11月30日(日)

身体障害者及び知的障害者に関する事業に対する助成

●実施団体/社会福祉法人 新日本友の会

●助成内容/(1)助成先

身体障害者及び知的障害者の福祉に関する事業を直接営む団体。

・原則として設立後1年以上活動している団体

・地域の社会福祉協議会などの支援団体は除く

(2)助成対象

建物、設備、什器設備等の有形固定資産の購入または修繕にかかる経費。

・動植物は対象としない

・原則として賃貸物件の改修、保繕などは対象としない

●助成金額/30万円~100万円(1件)

●応募方法

(1)助成を希望する団体は、当会事務局に直接電話連絡をする。

(2)当会より送付する「助成金申込用紙」を読み、同封の「助成金申込書」に必要書類を添付して申し込む。

〒108-8005

東京都港区港南1丁目8番15号 Wビル17F

社会福祉法人 新日本友の会

担当: 山田敦子

TEL: 03-5495-2784

FAX: 03-5495-2785

E-mail: atsuko.yamada@exxonmobil.com

URL: <http://shinnihon-tomonokai.or.jp/file/a001.html>

●応募締切/2003年11月30日(日)

※掲載情報の詳細、またこの他の助成金情報は奈良ボランティアネットでご覧いただけます。尚、内容に関するお問い合わせは、各助成団体をお願いします。



社会福祉法人 奈良県社会福祉協議会

〒634-0061 奈良県橿原市大久保町320-11
奈良県社会福祉総合センター内

- ボランティア活動センター TEL：0744-29-0155
- 奈良県ボランティア情報センター（直）TEL：0744-26-0233
共通FAX：0744-26-0234

【開所時間】

- ボランティア活動センター 月～土 / 8:30～17:15

info@nvn.pref.nara.jp

郵便便記

猛暑のような真夏日を迎えることなく夏が過ぎ、
長雨の後は少し冷たい空気の、秋の気配が訪れ
ました。子どもから大人になるにつれ、時が経つ
のは早いとよく言われますが、1日が、1カ月が、
いえ1年があったという間に年々過ぎていくようで、
本当にどうなんだなと実感しています。

時間にあられる忙しい日々の中で、社会にある
様々な出来事に目を向け、課題に気づく感性を失

っていないだろうか、人として大事なものを見失
っていないだろうかと自分に問いかけています。
このコンパスが、いろいろな課題や大事なものに
気づくきっかけとして心にとまれば幸いです。コ
ンパスで取り上げて欲しいテーマ・情報など、皆
さんのご意見、ご感想をお待ちしています。

(by さき)